

重点課題	重点目標	自己評価			総合評価	学校関係者評価 今後の改善方策
◆安心安全な教育環境の整備と危機管理の推進	<p><小学部> ・災害時や緊急時でも、誰もがとっさに動くことのできる安心安全で分かりやすい環境の整備と防災情報の共通理解を図り、安心安全な学校作りを推進する。</p>	<p>評価指標</p> <p>①とっさの時にも対応できるように、児童にも教員にも分かりやすく安全な環境を整える。</p> <p>②保護者に引き渡すまでの対応を考え、実践を通して全員で共通理解を図る。</p>	<p>評価指標による達成度</p> <p>評定</p>	(所見)		
		<p>活動計画</p> <p>①学部の教員で小学部の環境を確認し、危険予測をして安全な環境作りや対応を考える。</p> <p>②-1保護者をはじめ、放課後等デイサービスや関係機関などから、災害時の対応や備えについての情報を得、学校の安全管理に生かす。</p> <p>②-2学部の教員で保護者の引き渡しまでに想定される状況に対して考えたり、防災用品がどこにあるかを確認したりして共通理解を図る。</p>	<p>活動計画の実施状況</p>			
	<p><中・高等部> ・安心安全な学校生活を送れるよう、生徒が自分達で教室等の環境の点検を行い、防災意識を高めていけるよう取り組む。</p>	<p>評価指標</p> <p>①生徒が各教室等の危険な箇所の有無の確認を1か月に1回行う。</p>	<p>評価指標による達成度</p> <p>評定</p>			
		<p>活動計画</p> <p>①-1中・高等部棟の各教室等の担当者を決め、毎月最初のチャレンジタイムの時間に実施する。</p> <p>①-24つのチェック項目（壁のヒビはないか、棚の上に物を置きすぎているか、窓の鍵は壊れていないか、窓ガラスは割れていないか）を記入したシートを配付し、項目に対して○×（生徒によってはシール）をつけていくようにする。</p>	<p>活動計画の実施状況</p>			
	<p><特別活動課> ・近い将来、発生が予想される南海トラフ巨大地震や気象災害等から児童生徒の命を守るため、安全教育を通してより一層の学校防災体制の充実と児童生徒の安全確保の能力や教員の防災対応能力を高める。</p>	<p>評価指標</p> <p>①災害時に必要な備蓄品の点検・見直しを行い、設備を整えて長期避難に備える。</p> <p>②年間3回の避難訓練と年間2回の防災学習、年間1回の不審者対応訓練を実施する。</p>	<p>評価指標による達成度</p> <p>評定</p>			
		<p>活動計画</p> <p>①備蓄品の点検を年間2回行い、地域特性や児童生徒の実態に合った備蓄品を整える。</p> <p>②-1土砂災害警戒区域にある本校の地域特性を考慮し、避難訓練において避難経路や避難方法の確認や見直しを行う。</p> <p>②-2発電機やカセットコンロ、薪ストーブ等を使用して炊き出しや機器類の動作確認をする等の防災学習を行う。</p>	<p>活動計画の実施状況</p>			

